

2008年6月30日
株式会社日立製作所

ポーランド・コゼニツェ発電会社向け脱硫設備を受注

株式会社日立製作所(執行役社長:古川 一夫/以下、日立)は、ポーランド共和国(以下、ポーランド)の EMP 社(Energomontaz Polnoc S.A)と共同で、ワルシャワ近郊で運転中のコゼニツェ発電会社(Elektrownia"Kozienice"SA)石炭火力発電所 10号機(50万キロワット)向け脱硫設備を受注しました。契約金額は総額約130億円で、2011年初頭に運転が開始される予定です。

欧州では、2008年1月より石炭火力発電所から排出される硫黄酸化物(SO_x)および窒素酸化物(NO_x)を抑制するための規制が強化されており、欧州各国の電力会社は、脱硫設備や脱硝設備を設置するなどの対策を進めています。日立の脱硫設備は、発電所から排出される石炭燃焼排ガスに含まれているSO_x等を9割以上除去できるため、大気汚染の防止に有効です。

今回、日立が脱硫設備を納入するコゼニツェ発電所は、ワルシャワ南方80kmに位置し、10基合計で286万キロワットの出力を有する石炭火力発電所です。日立は2004年6月に、同発電所の4号機から8号機向けに、ポーランドで最大容量、欧州でも最大級となる80万キロワットの石炭火力発電所向け脱硫設備を受注し、2007年1月に引き渡しを完了させ、現在も順調に稼働中であり、今回の受注はこれに続くものです。脱硫設備の設計、主要機器納入、プロジェクトマネジメント、試運転は、日立の子会社であるバブコック日立株式会社(取締役社長:脇野 哲郎)が行い、土木建築工事および据付作業は EMP 社が行います。

今後も日立は、欧州市場への積極的な事業展開を行い、受注拡大に努めるとともに、環境対応技術を通じて地球環境の保全に貢献していきます。

照会先

株式会社日立製作所 電力グループ 国際電力営業本部 欧州部 [担当:篠原]
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目18番13号
電話 03-4564-4451(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
